



Jodo Mission of Hawaii Bulletin - May 2022

ハワイ浄土宗別院寺報 (ブルテン日本語版)

ハワイ州ホノルル市マキキ街1429

電話番号：(808) 949-3995

002-0522

24時間 **第17回** 東京の中心で 仏の名を呼ぶ

不断念仏会

BRIGHT LIGHTS, BIG PIETY 2022

5月21日(土) 午後1時から
5月22日(日) 午後1時まで

ハワイ時間：オンライン配信
5月20日(金) 午後6時～
5月21日(土) 午後6時

オンライン+会場参加
<http://canchiin.net/special/24fudan/>
(21日12:30～17:00増上寺慈雲閣で参加可能)

オンライン参加費無料
※会場参加費は500円

メイン会場：大本山増上寺 慈雲閣2階 (増上寺への問合せは出来ません)

主催:24時間不断念仏会
後援:大本山増上寺、浄土宗東京教区教化団
協賛:フリースタイルな僧侶たち、宿坊研究会、丸の内ほんにゃ会、東京四谷坊主バー (交渉中含む)

サンデー・スクール (子供の日・母の日)

2022年5月1日(日) 午前9時20分より

母の日法要～ハッピー・マザーズ・デー!

2022年5月8日(日) 午前10時～

於) ハワイ浄土宗別院

永代経法要：毎朝9時30分より

(**都合により時間を変更することがありますので、参列される場合は、事前にお電話下さい)

納骨堂・事務所オフィスアワー：

午前10時～午後5時まで(月～土)

午前10時～午後3時まで(日・祭日)

事務所：(808)949-3995

日曜礼拝：毎週日曜日午前10時より

Kosen Ishikawa's YouTube Channel よりライブ配信

Jodo Shu Calendar for May 2022

心の声に耳を澄まそう 大変だったり、疲れているのに無理をし過ぎていませんか？自分の本当の気持ちに気づいて、時にひと息つくことも大切です。



Jodo Mission of Hawaii
1429 Makiki Street,
Honolulu, HI 96814
Address Service Requested

ハワイ浄土宗別院の檀信徒並びにサポーターの皆様へ



アロハ。平素より当院へのご支援ご協力誠に有難うございます。先月は、ブルテン日本語版発刊に対しお褒めの言葉や励ましの言葉を頂きとても有難く光栄に存じます。特に私が企画した「鯉のぼりセレブレーション」の反響は殊の外大きく、22日現在、84名の方に大小321旒の鯉のぼりのスポンサーとなって頂きました。この間、別院の前庭にたなびく多くの鯉のぼりを想像し、心がグルン♪となって、イベントの準備に勤しんでまいりましたが、スタッフもスポンサーになって頂いた方々も、私と同様に、鯉のぼりをとても楽しみにされていることを知り、嬉しく思っている次第です。

この企画を推進している理由の一つに、より多くの人に別院の存在を知って頂きたいという強い思いがあります。言うまでもなく、別院は、ユニークな外観ですので、誰もがその存在を知っているかと思っております。しかし、実際のところ、カウアイ島のメンバーや友人は、マルカイやドン・キホーテがどこにあるか知っている一方で、浄土宗別院の所在地を認識していませんでした。別院は、オアフで有名な建物、と思っておりましたので、少なからずショックがありました。では、どのように、この素晴らしい別院をより多くの人に知って頂くことができるのでしょうか？皆様の御協力をお願いしますとともに、鯉のぼりが一つのきっかけとなってくれればと大いに期待している次第です。

もともと別院は、浄土宗開教本院の名前で、1907年カカアコに創建。写真を見る限り立派な建物でしたが、木造で海に近く、暴風雨により本堂が大きな被害を受けたことからマキキ街に移転。現在の本堂は1932年に、ハワイで数々の斬新な建築デザインを手掛けた淵野平吾氏によって設計されたといわれています。当時ハワイ社会の中で日本人の人口割合が大きかったことから、日本人特有の感性もあって、社会を刺激しないように、先人はいろいろ考えたようです。そして、このユニークなインド風西洋的な外観を作ることによって、仏教はインド発祥の国際的な宗教であることを表現。つまり、日本風の仏教寺院をあえて造らないことで、仏教は決して日本人だけのものではない！というアピールを読み取ることができるのです。このような先人の思いを大切に受け継ぎ、より開かれた魅力的な寺院を目指していきたいと思っております。幸い、高野先生も田邊先生も、とても親切で寺院活動に熱意をもっておられます。何かお困りのことや相談されたいことがありましたらご遠慮なくご一報ください。皆様の御期待を越えられるよう常に精進してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

合掌 浄土宗ハワイ開教区開教総監 石川広宣

サンデー・スクール「子供の日について」

ハワイ浄土宗別院駐在開教使 高野明宏



今年から石川総監の提案により、ハワイ浄土宗別院ではこどもの日のために、300旒の鯉のぼりを境内に展示するプロジェクトを行います。お寺に来た人はもちろん、高速道路からもハワイの人々が鯉のぼりを見て楽しめることとなることでしょう。



こどもの日とは、「こどもたちの人格を重んじ、幸福をはかるとともに、両親に感謝する日」と定義されています。私の担当するサンデー・スクールでも5月1日に、「子供達の成長を祝福するとともに子供達には母親への感謝を伝えてもらおう」というスローガンで、こどもの日をお祝いします。

こどもの日には様々な慣習があります。その一つが鯉のぼりを飾ることです。「滝を登り切った鯉は竜になる」という縁起のいい中国の故事にちなみ、鯉のぼりを掲げるようになったそうです。また、五月人形や鎧や兜を飾る習慣もあります。これは子供の身を鎧によって守り、健康に成長する願いを込めて飾るという意味があります。柏餅やちまきを食べる習慣もあります。柏は、新芽が育つまで冬の間も古い葉が落ちないことから、「子孫繁栄」につながるとされる縁起のいい植物とされているので、子供の日にカシワ餅をいただくそうです。5月1日のサンデー・スクールでは柏餅を作る予定です。サンデー・サービスに参加していただいた方々に柏餅をお配りいたします。ハワイでは柏の葉の入手が困難なので、サンデー・スクールではティーリーフを代用して柏餅を作ります。



ちまきとは、甘い味付けの餅、ちちだんごのような味の餅を笹で巻いたものです。こどもの日にちまきを食べ始めるようになったのは、中国のある行事が由来しています。およそ2,300年前の中国に、正義感と愛国心を持った屈原（くつげん）という人物がいました。有能な政治家として国王に仕えていましたが、暗躍する陰謀により国を追われます。そして屈原は国を憂いながら5月5日、河に身を投じました。

中国文学「離騷（りそう）」によると、屈原の死を多くの国民が悲しんだそうです。屈原が身を投じた河に供物を投げて供養しようとしたのですが、悪い龍が途中で食べてしまいました。そこで、龍が苦手な笹の葉でもち米を包み、河へ投げたところ、無事に屈原の元に届いたそうです。

ちまきを包む笹の葉は香りが強いです。香りには邪気を払う働きがあると信じられていたため、ちまきは厄除けのための食べ物とされています。最後にこどもの日についてまとめると……

- ・鯉のぼりを飾る・鎧や兜をかざる・ちまきやカシワ餅を食べる

このような風習にはそれぞれに、子供の成長を祝福する意味があります。5月5日のこどもの日には、ぜひ子供やお孫さんにそれぞれの意味をお伝えしたうえで、祝福して頂けると幸いです。

ハワイ浄土宗別院の御本尊である阿弥陀様も愛と御慈悲をもって、いつも子供達を見守ってくださっております。合掌

ハワイ浄土宗別院2022年お盆・お施餓鬼法要日程の変更

別院では、本年7月15日～17日に予定しておりましたお盆・お施餓鬼法要を、ハレイワ浄土院のお盆日程（7月15日・16日）と重なったため、7月22日～24日の日程へ変更致しました。初盆法要は、初日の7月22日午前10時より以下の日程で対面とオンラインのハイブリッドで行います。

7月22日（金）午前10時～ 初盆お施餓鬼法要 午後6時～お盆・お施餓鬼法要

7月23日（土）午前10時～ お盆・お施餓鬼法要 午後6時～お盆・お施餓鬼法要

7月24日（日）午前10時～ お盆・お施餓鬼法要 午後より後片付け

尚、法要に先駆けて、7月17日（日）ソーシャルホールにて大塔婆を建立。翌18日から21日まで大塔婆供養プライベート法要を受け付けます。大塔婆期間中、午前10時から午後6時まで（午後1時から3時までで休み）ホールを開放致しますので、ぜひお参り下さいませ。* * *4月19日より空港やバスなど公共の交通機関でもマスク着用義務がなくなりましたが、今も感染者数が多いことから、別院では引き続き室内でのマスク着用をお願い致します。盆ダンスは、8月19日、20日に対面での開催を予定しております。

第17回24時間不断念仏会 ハワイ時間5月20日（金）午後6時～5月20日（土）午後6時

24時間不断念仏会は、もともと東京観智院（土屋正道住職）が「東京の中心で、仏の名を呼ぶ」をスローガンに、浄土宗大本山増上寺を会場にはじめられたもので、本年度で17回目を迎えます。

「南無阿弥陀仏」と念仏をひたすらお唱えする別時念仏は、日々のお念仏を重視されていた法然上人も「時々修すべきなり」とお勧めされておられます。コロナ禍でオンライン中継が中心になりますが、増上寺慈雲閣からの配信をベースに、世界各地から参加予定です。特に、一昨年からズームにより個人単位でも参加できるようになりましたので、ぜひ、御参加ください。ハワイ開教区では、以下の寺院で対面での開催を予定しております。

5月20日（金）午後6時～7時 ラハイナ浄土院（原源照先生）、ワジラ・ワンサ先生（個人参加）

5月21日（土）午前7時～8時 ワイルク浄土院（原ジョン潮音先生）

5月21日（土）午前9時～10時 ハワイ浄土宗別院（総監、田邊孝頭先生）

カパア浄土院（高野明宏先生）

詳細は、浄土宗ハワイ開教区のウェブサイト(www.hawaii-jodo.net)をご覧ください。

レイ・メイキング・プロジェクト 5月27日（金）午前9時より

5月27日（金）午前9時より別院憩いホールにて、沢山のレイを作り、パンチボール（太平洋国立墓地）へ献花致します。このプロジェクトは、もともとYBA（別院仏教青年会）が、メモリアルデーを記念し、パンチボールに眠る兵役経験者へ敬意とアロハを送る目的ではじめましたが、現在は別院のプロジェクトとして行っております。ボランティアの方々と談笑しながら一緒にレイを作ませんか？つきましては、クラウンフラワー、ブーゲンビリア、プルメリアなどレイになりそうな花を寄贈下さる方は、当日または5月26日（木）にオフィスまでお持ちください。



ハワイ浄土宗連合婦人会奨学金—中村浪江スカラシップ

故中村ドワイト良観開教総監の御内室中村浪江開教助員が寄付された資金よりハワイ浄土宗連合婦人会奨学金が1990年代に設立。以降、ハワイ州内の浄土宗寺院の活動に従事した高校卒業生より選考し、毎年、1000ドルの奨学金を受賞者に贈呈しています。申請には、両親または庇護者が浄土宗のメンバーである等条件がありますので、興味のある方はぜひお問い合わせください。なお、サンデースクールの活動に従事または別院行事を手伝ってくれる生徒さんには、依頼があれば喜んで推薦状を書きますので、ぜひサンデースクールの活動にご参加ください。

バザー等ボランティアの募集

別院では、小規模なバザーを一年に数回の頻度で開催したいと考えておりますが、ボランティアや全体的に責任者となってくれるオーガナイザーの方を募集しております。ボランティアしてもよいという方は、恐れ入りますが、石川(808)635-8530)までご一報ください。

オアフ島ユース・リトリート開催

去る4月17日オアフ島ユースリトリートが開催。ハレイワ浄土院と別院でそれぞれ日曜礼拝に参加後、ワイパフの公園に集い、昼食やエッグハントなど楽しいひと時を過ごしました。その後、アイトランポリンを満喫して解散。短い間でしたが、約3年ぶりにユースリトリートを開催できたことは大きく、今後も青少年活動を活発に行っていく予定です。



ハワイ仏教連盟主催「花祭り2022」去る4月3日（日）、ハワイ浄土宗別院でハワイ仏教連盟主催「花祭り」が対面とオンラインにて開催されました。ハワイ仏教連盟を構成する東本願寺、本派本願寺、浄土宗、高野山真言宗、曹洞宗、日蓮宗、天台宗の七宗総監を含め20名の開教使と各宗代表者14名が、2年ぶりに一同に会し、釈尊の生誕を祝いました。今年のテーマは、「予期せぬ状況への適応」。カウアイ・シヴィル・ディフェンス（現カウアイ郡危機対策センター）元部長で、社会心理学者のグレンダ・ノガミ・ストリューファート博士が基調講演。新型コロナウイルス感染症で亡くなられた犠牲者（2022年4月12日現在死者数618万人）の追悼式も併修し、各宗の総監より読経と廻向、そして祈りの言葉が捧げられました。



ストリューファート博士の講演は、コロナ・パンデミックの影響をプラスとマイナスの側面から分析。様々な問題を解決するキーワードとして、**resilience**（レジリエンス）という言葉を紹介されました。この言葉は、もともと物理学で使用されていた弾力を意味する言葉で、一般的には「跳ね返りの力＝弾力」を意味します。博士は、心理学で使われる意味として「困難や予期せぬ状況に向かっていく弾力」に加え、「適応する力」も重要であると説明。今も続くパンデミックには、このレジリエンスをいかに実践していくか？その一例としてNew Normalの説明をされました。これは直訳しますと「新しい普通」「新しい常識」で、パンデミックがはじまってから注目されるようになりました。たとえば、現在、お店の中で誰かが咳をすると直ちに「咳」に反応し、咳をした人に対し意識的に警戒してしまいます。これはパンデミック前は、気にもとめぬことでしたが、パンデミック以後は、ニューノーマルとして定着。今後も「咳」に対する過剰反応が続くであろうとのこと。あるいは、9・11テロ事件の後に始まった空港での安全検査の強化もニューノーマルの一つでした。今では、信じられないことですが、2001年同時多発テロの以前、アメリカの空港では誰もが搭乗ゲートまで普通に家族や友人を見送ったり出迎えたりすることができました。しかし、テロの後、手荷物検査が著しく強化され、旅行者以外は、ゲートに近づくこともできなくなったのです。その上、セキュリティーゲートでは、靴やベルト、上着を脱がされたり、飲み物の持ち込みが禁止され、手荷物検査に時間がかかったり、誰もが不自由を強いられ、昔を懐かしんだものです。しかし、このような大きな変化であっても、時間が経ちますと自然に慣れて普通になっていきます。確かに、コロナ前の時代と比較しますと、現在は比較にならないほどストレスに満ちた不自由な生活です。しかし、誰もが空港での不自由な安全対策を受け入れ慣れたように、私たちは慣れることができる。それが、レジリエンスの適応能力です。ちなみに、日本では毎年年末に「今年の流行語大賞」として、その年に流行した言葉を選びますが、アメリカでも大手出版社が、**Word of the Year**（今年の言葉）を発表。経済雑誌のForbsが「2021年の言葉」として「**Resilience**（レジリエンス）」を選んでいきます。レジリエンスは、どんなに困難で危機的状況であっても、逆境を跳ね返し、適応していく力であり、博士は地域団体や他人との「**Interaction**（相互作用）」によって困難から立ち直ることができる結論されました。なお、当日はYouTubeによるライブ配信と同時に、100名以上のズームでの参加がありました。動画は、即日、私が編集しHBCのYouTubeアカウントより閲覧が可能となっています。余談ですが、今回もハワイ仏連と同時にカウアイ仏連の「ヴァーチャル花祭り」も担当。高野先生、田邊先生の協力のもと時間をかけてビデオを編集致しました。こちらもぜひご高覧いただくと幸いです。ビデオはいずれも浄土宗ハワイ開教区のウェブサイト（www.hawaiijodo.net）にリンクを掲載しております。末筆ですが、今回花祭りの大行事をホストするにあたって、メンバーの方々や草月流華道クラスより沢山の花を寄贈を頂き、また、お手伝いを頂きました。心より御礼申し上げます。**編集後記** 先日、HAIBのアース・デーを記念したイベントで、レスリー・スポンセル博士が「アース・デー（地球の日）は、本来、毎日、毎秒が地球の日でなければならない」とおっしゃっておられたのが印象的でした。5月は、一年に一度、第二日曜日に「母の日」を祝っていますが、実は「母の日」もアースデー同様に、毎日、祝い、感謝すべき日かもしれないと思った次第です。幸い、日本にいる母は病気がちでありながらも、生きており有難く思っているのですが、パンデミックが始まって以来、実家の寺を手伝いに行くことも十分な親孝行もできないことは誠に悩ましいことでもあります。しかし、悩んでいても何もはじまりません。自らを常に忙しくすることで、不安や悩みを忘れることはとても大切なことに思うのです。恩ある両親になにもできないからこそ、今、接することのできる皆様のお役に立てればと願っている次第です。／「忘れる」といえば、先月、カウアイ島を訪れた際、Bさんをお見舞い致しました。Bさんは、とにかく陽気でいつもスマイル。とても気持ちの良い方なのですが、短期記憶に障害があり、訪問するときは、延々と同じ質問を繰り返されるのです。子供たちを気にかけて下さった方なので、質問のほとんどが、子供たちが今何年生になったか？などの質問でした。しかし、驚いたことに先月お会いしたBさんは、なんと私がホノルルへ引越したことをご存知で、ホノルルの新しい生活はどうか？と何度も何度も聞いてきたのです。なぜでしょうか？実は、Bさんを見舞う数週間前に、私はBさんへ直接手紙を出していたのです。「ペンが剣よりも強し」と言いますが、なるほどペンで書かれた手紙や文章は、耳で聴いた話より心に残り、忘れがたい力があるのではないかと改めて感動しました。／さて、日本へ帰国の際、ワクチン接種を条件に、隔離をしなくてもよくなったと聞きましたし、現在のところ円安ドル高が続いていますので、今が日本に一時帰国するチャンスかもしれません。JTBさんによりますと、6月以降燃料費の高騰化に伴い飛行機運賃が値上げされるので、航空券は5月末日までに購入されるのがお得とのことでした。／5月は3日より高野先生がカウアイへ出張し、田邊先生が1か月ぶりにオアフへ戻ってきます。皆様どうぞお身体お大事に（総監）